

空き家を活用した出雲医療看護専門学校学生用シェアハウスの 完成について

市内事業者による空き家を活用した出雲医療看護専門学校（以下「専門学校」という。）学生用シェアハウス改修事業が終了し、シェアハウスが完成しましたので報告します。

記

1. シェアハウス改修事業の経緯

- ・専門学校学生数 371人（令和4年4月現在）
- ・専門学校に学生寮はなく、自宅通学以外の大半の学生は民間アパートを借りている。
- ・病院や福祉施設で臨地実習を行う学生は、新型コロナウイルス感染症の影響によりアルバイトが制限されており、経済的な負担が増している学生もいるため、低額家賃の住まいの確保が課題となっている。
- ・市内事業者が出雲市空き家活用住宅等整備支援事業補助金（以下「補助金」という。）を活用して空き家を改修し、8月末に学生用シェアハウスが完成した。

2. シェアハウスの概要

- (1) 所在地 出雲市天神町地内
- (2) 定 員 学生4名（令和5年4月から入居、入居者は今後決定）
- (3) 改修事業者 株式会社御船組 代表取締役 金築 邦彦
- (4) その他 シェアハウスを管理する事業者として町内会に加入し、入居者は町内会活動などに参加予定

3. 市内学生用のシェアハウス

補助金を活用し、市内の空き家を改修、整備された学生用シェアハウスは、令和3年度の島根県立大学出雲キャンパス学生用シェアハウス（西林木町地内）に続いて2棟目となります。

「シェアハウス」とは

一つの住居に複数人が共同で暮らす賃貸物件を指す和製英語。一般的には、キッチン、リビング、バスルームなどを共同で使用し、プライバシー空間として個室を利用する。

●シェアハウス改修状況

玄関



個室（2階）



ダイニング



キッチン



バスルーム



トイレ

